

# 福島経済マンスリー

11月の県内経済は、一部に弱い動きが残るものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

## 1. 平成26年11月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、一部に弱い動きが残るものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では7ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、8ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月連続、請負金額と保証金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月ぶりで前年を下回ったものの、工事費予定額が2ヵ月連続、床面積が4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は合計で2ヵ月ぶりに前年を下回った。内訳をみると、分譲が3ヵ月連続、貸家が2ヵ月連続で前年を上回ったものの、持家が6ヵ月連続で前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が3ヵ月ぶり、前年比が2ヵ月ぶりでそれぞれ下降した。業種別の前月比をみると、9業種で上昇し、10業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回るとともに、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は14ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は10月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

## (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		26年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.7	4.0	6.2	5.0	3.0	4.1
	乗用車新車登録台数	△ 1.6	△ 3.0	△ 18.1	△ 4.9	△ 10.6	△ 12.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	67.7	17.8	6.0	△ 26.7	58.7	△ 39.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	124.0	△ 41.3	△ 17.6	33.1	154.1	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 1.9	△ 19.0	△ 14.1	△ 12.1	0.2	△ 1.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>	9.5	0.9	0.0	2.5	△ 3.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup>	0.15	0.19	0.16	0.17	0.20	0.21
	雇用保険受給者実人員	△ 16.6	△ 21.8	△ 21.1	△ 17.2	△ 20.5	△ 20.6

注1 原指数

## (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		26年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.7	2.1	4.8	△ 10.4	4.1	2.0
	乗用車新車登録台数	23.7	△ 0.3	△ 30.4	55.6	△ 18.9	4.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 7.9	16.4	△ 35.4	0.3	△ 1.0	△ 56.5
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	43.0	△ 59.8	△ 23.0	40.5	171.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	28.7	11.5	△ 33.2	△ 4.5	12.2	13.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>	2.0	△ 4.6	2.2	1.0	△ 2.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup>	0.00	△ 0.01	△ 0.02	0.02	0.02	0.01
	雇用保険受給者実人員	0.8	0.8	△ 4.9	△ 1.0	△ 6.9	△ 10.2

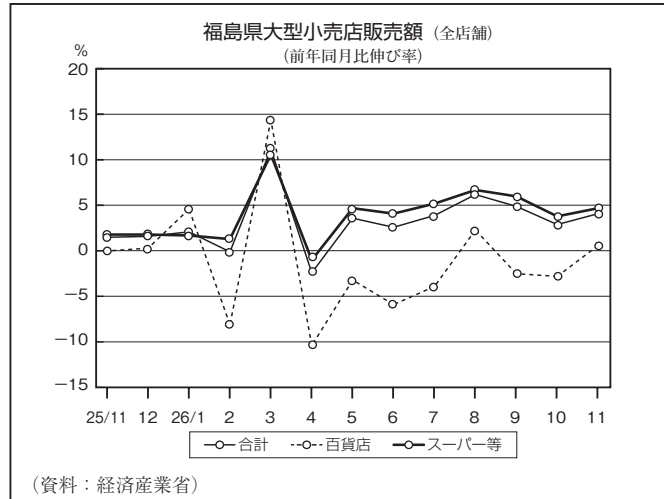
注2 季節調整値

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

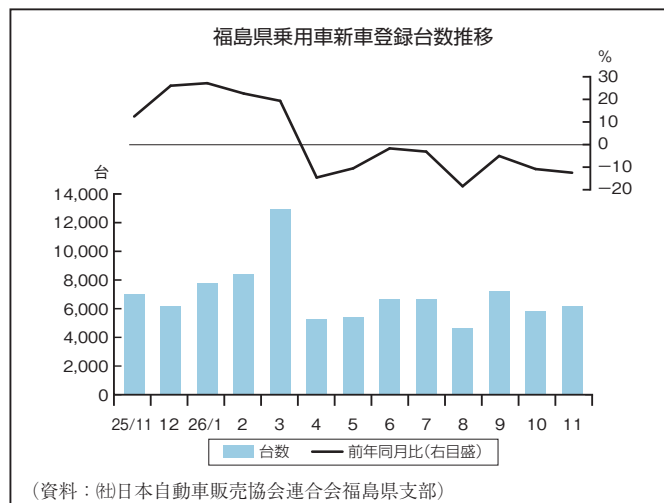
##### 大型小売店：7ヵ月連続で前年比増

11月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で207億66百万円（前年同月比+4.1%）と7ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、合計では同+0.6%となった。また、スーパーも、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+4.7%となった。



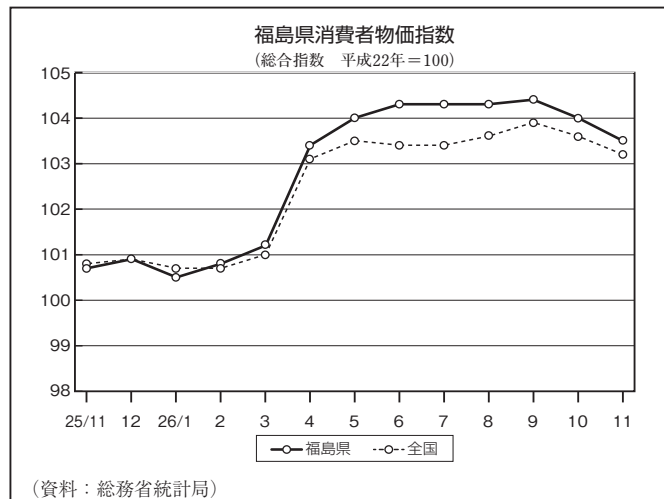
##### 乗用車販売：8ヵ月連続で前年比減

11月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,136台（前年同月比△12.2%）となり、8ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,661台（同△17.4%）、軽乗用車が2,532台（同△2.4%）とともに2ヵ月連続、小型車が1,943台（同△18.5%）と4ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比で上昇、前月比で下降

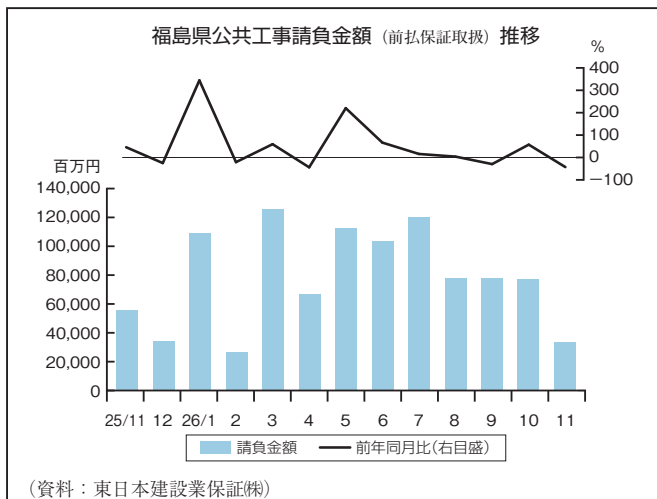
11月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、103.5と前月比△0.5%、前年同月比+2.8%となった。費目別に前月比で見ると、「諸雑費」が108.8（前月比+0.1%）と上昇したものの、「家具・家事用品」の95.5（同△2.1%）など7費目が下降した。



### 公共投資

#### 公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比減

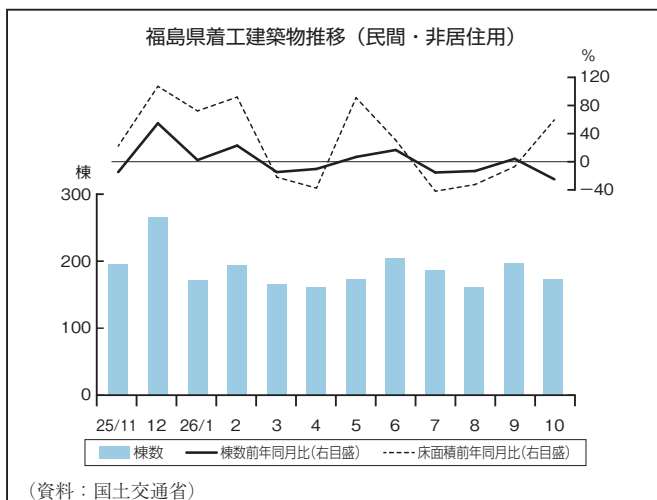
11月の公共工事前払保証取扱は、件数が560件（前年同月比△26.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。また、請負金額は337億87百万円（同△39.8%）、保証金額は152億83百万円（同△66.3%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を下回った。



### 設備投資

#### 設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比増

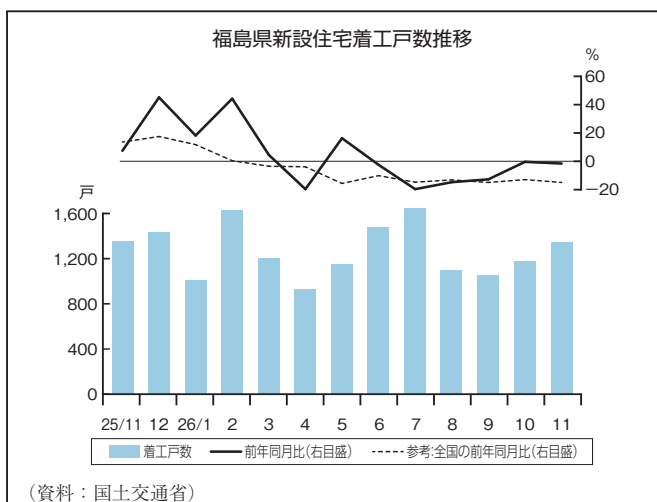
10月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が172棟（前年同月比△24.6%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。一方で、工事費予定額は374億26百万円（同+154.1%）と2ヵ月連続、床面積は158,643㎡（同+58.9%）と4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



### 住宅投資

#### 住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比減

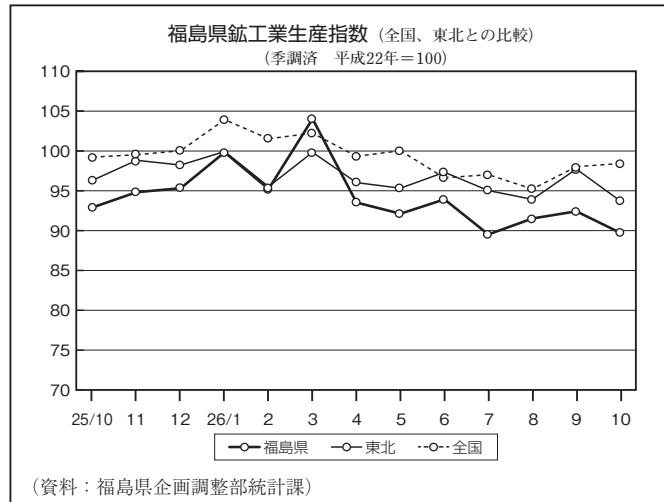
11月の県内新設住宅着工戸数は、1,342戸（前年同月比△1.0%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が98戸（同+24.1%）と3ヵ月連続、「貸家」が491戸（同+2.5%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回ったものの、「持家」が741戸（同△6.8%）と6ヵ月連続で前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

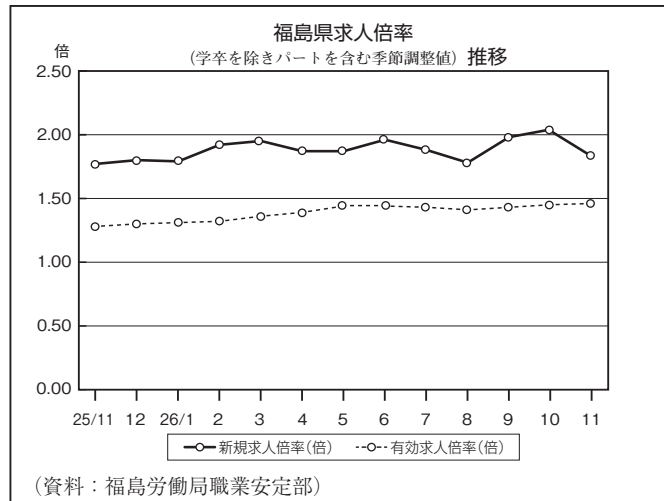
10月の鉱工業生産指数は、89.7（季節調整値）で前月比△2.9%と3ヵ月ぶりで前月を下回り、原指数が94.4で前年比△3.5%と2ヵ月ぶりで前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「木材・木製品」（前月比+9.4%）など9業種で上昇したが、「繊維工業」（同△29.4%）など10業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は56ヵ月連続前年比増

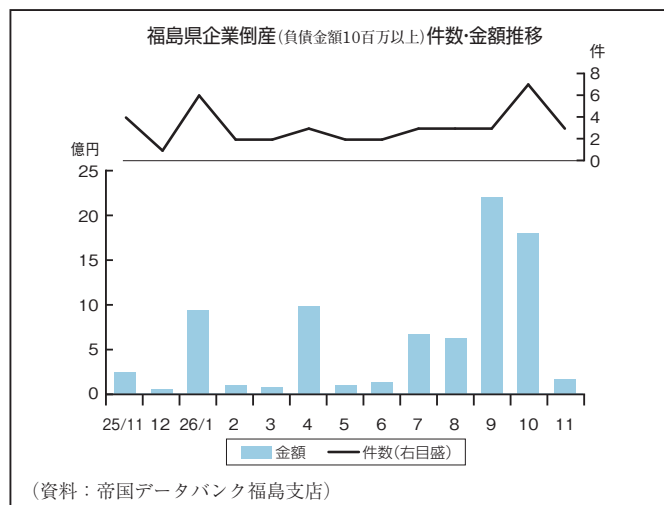
11月の新規求人倍率は、季節調整値が1.84倍（前月比△0.2ポイント）、原数値が2.20倍（前年同月比+0.17ポイント）となった。また、11月の有効求人倍率は、季節調整値が1.46倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.60倍（前年同月比+0.21ポイント）と56ヵ月連続で前年を上回った。また、11月の雇用保険受給者実人員は5,756人（前年同月比△20.6%）と14ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債額とも前年比で減少

11月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比△25.0%）、負債総額が2億30百万円（同△13.9%）となり、件数、負債総額とも前年を下回った。業種別では、サービス業が2件、卸売業が1件となった。

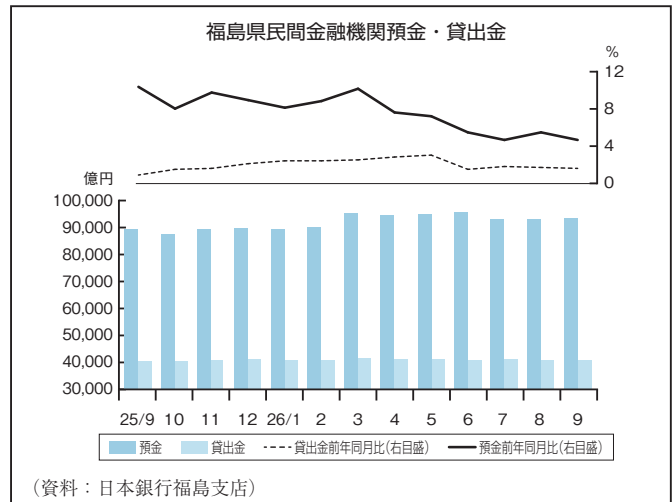


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

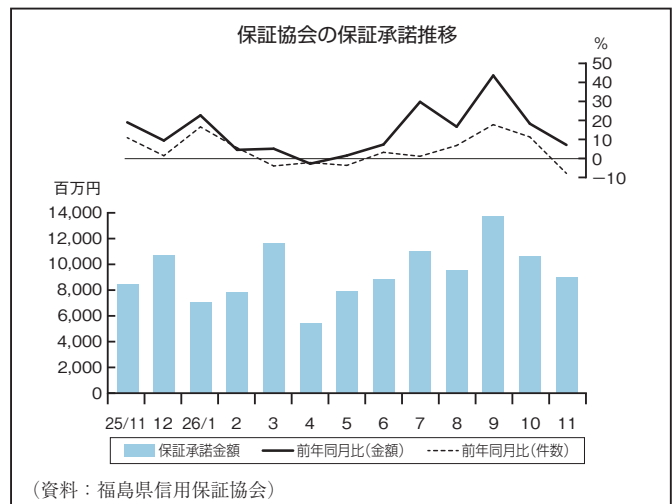
県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の9月末の預金残高は、9兆289億円（前年同月比+4.7%）と91ヵ月連続、貸出金残高は、4兆418億円（同+1.7%）と16ヵ月連続で前年を上回った。

※10月データは、平成27年1月22日公表予定。



保証協会：保証承諾は金額が前年比増

11月の保証承諾は、件数が700件（前年同月比△8.0%）、保証金額が90億2百万円（同+7.0%）となった。また、11月末日現在の保証債務残高は、件数46,243件（同△5.1%）、金額4,073億74百万円（同△8.8%）となった。一方、11月中の代位弁済は、件数が26件（同△23.5%）、金額が1億59百万円（同△56.8%）となった。



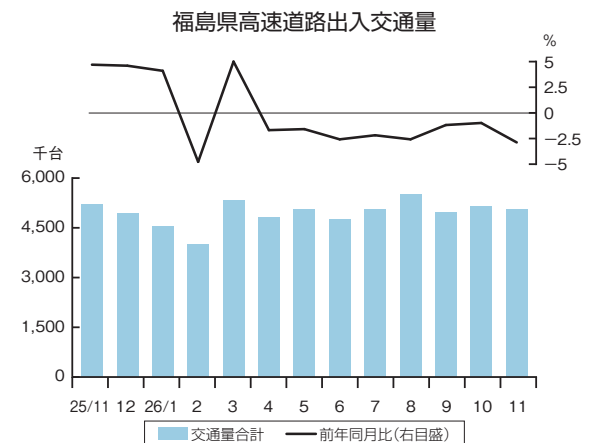
4. 業種別動向

消費動向

**家電量販店** 11月の家電量販店の売上高は、パソコンや冷蔵庫、洗濯機などが前年を下回ったことなどから、合計でも前年を5%ほど下回った。

**ホームセンター** 11月のホームセンターの売上高は、エクステリアなどが引き続き前年を上回ったものの、飲食料品などが前年を下回り、合計でも前年を5%程度下回った。

**旅行** 10月の旅行取扱額は、国内が前年を下回ったものの、国外が団体を中心に前年を上回ったことから、合計では前年実績を10%程度上回った。

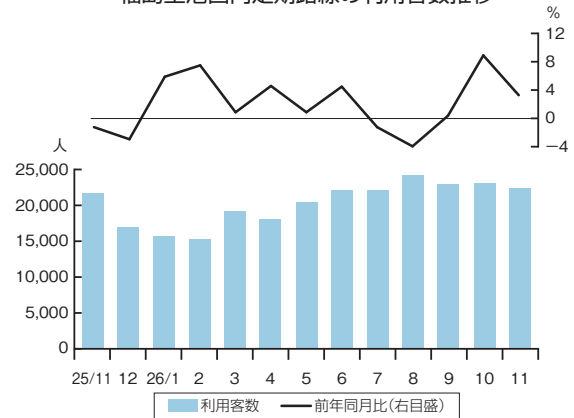


**高速道路** 11月の県内自動車道出入台数は、合計で5,044,937台（前年同月比△2.9%）と、8ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,292,284台（同+9.9%）と9ヵ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は407,519台（同△6.6%）と2ヵ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,706,416台（同△6.3%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は638,718台（同△8.0%）とともに8ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

**福島空港** 11月の福島空港国内定期路線の利用状況は、22,387人（前年同月比+3.3%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,352人（同△9.9%）、大阪便は15,035人（同+11.3%）となった。

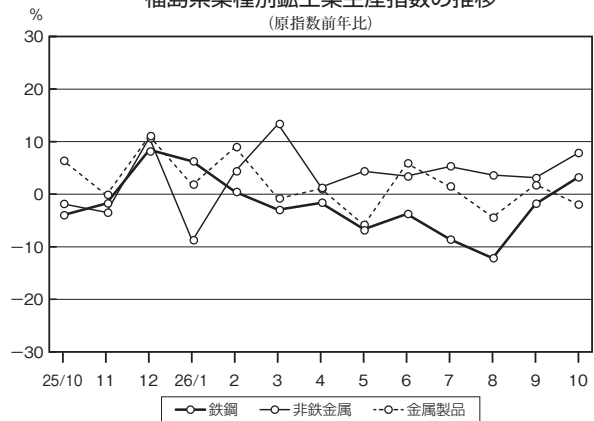
（国際定期路線は全便運休）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



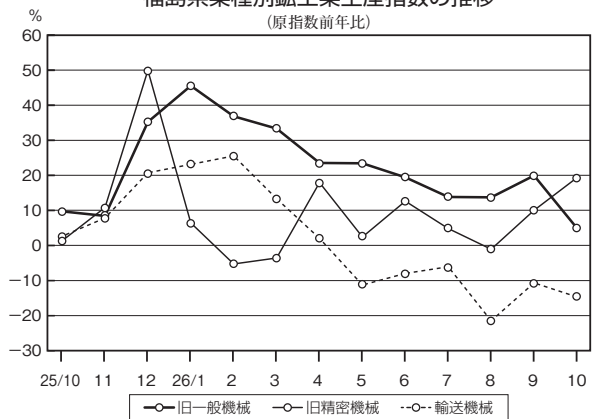
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

生産活動

**化学** 11月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要に回復の動きがみられていることから、前年並みの生産水準となっている。一方、フッ素樹脂は、リチウムイオン電池の材料など、海外からの受注量が増えたことなどから、前年を上回る生産となった。

**鉄鋼・金属** 11月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年を3%ほど上回る水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安効果と昨年水準が低かったことから、前年を30%以上上回る生産を確保した。11月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いているものの、前年並みの生産水準を確保した。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いているものの、安定した受注量を確保したことから、前年を10%以上上回る生産となった。

**輸送用機械** 11月の鋳造品は、トラック向けがタ

イの需要に回復の兆しが出ているのに加え、北米向けの生産が堅調なことから、合計では前年を5%以上上回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売が振るわないことによる影響などもあり、合計では計画をわずかに下回る生産となった。

**電気機械** 11月の電気機械は、配電盤や誘導炉、変圧器、モーターの生産がいずれも前年を上回ったことから、合計では前年を50%以上上回る生産となった。

**情報通信機械** 11月の情報通信機械は、国外向けのパソコン（携帯電話の中継局）の生産が好調だったものの、国内向けモバイル基地局の生産が横ばいで推移していることから、合計では前年並みの生産水準となった。

**電子部品・デバイス** 11月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要がやや回復してきたことや、生産ラインの増設による影響から、前年を50%程度上回った。

**精密機械** 11月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年を約20%上回る生産水準を保った。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、円安による海外受注の増加により、前年を10%ほど上回る生産となった。

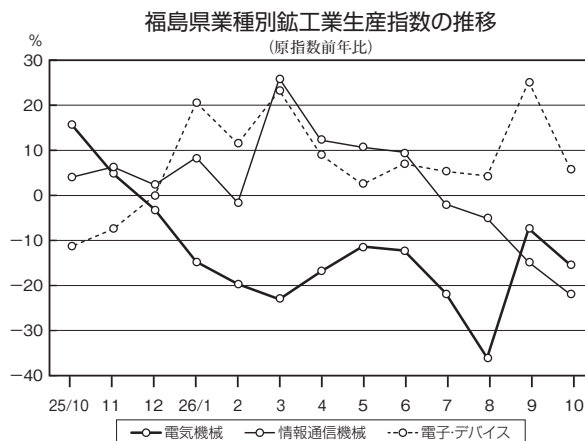
**紙・紙加工品** 11月の製紙は、消費増税による消費の伸び悩みも窺えることから、感熱紙などが減産となり、合計では前年を10%以上下回る生産水準となった。

**清酒** 11月の清酒移出数量は、1,343kl（前年同月比△5.6%）と3ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が606kl（同△1.6%）と3ヵ月ぶり、一般酒（特定名称酒以外の酒）が737kl（同△8.7%）と8ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

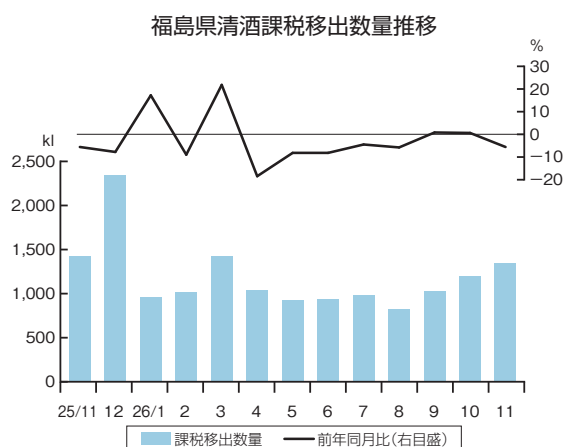
**化合繊維物** 11月の化合繊維物は、単価の高い製品にシフトしている影響などから、生産量が前年とほぼ同水準だったものの、売上高では前年を25%程度上回った。

**ニット** 11月のニットは、冬物商品の生産が中心となり、数量ベースでは前年を20%ほど上回り、金額ベースでは前年を30%ほど上回った。

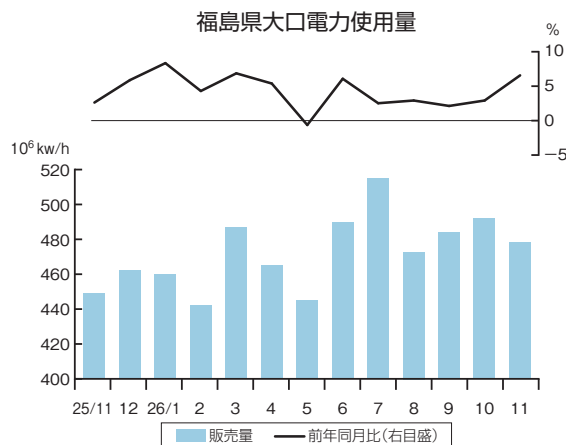
**大口電力** 11月の大口電力販売量は、478百万kw/h（前年同月比+6.6%）と6ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)

「非鉄金属」で103百万 kw/h（前年同月比+22.5%）、「電気機械」で75百万 kw/h（同+4.7%）、「輸送用機械」で55百万 kw/h（同△2.2%）、「化学」で45百万 kw/h（同△0.6%）、「一般機械」で24百万 kw/h（同+0.6%）、「紙・パルプ」で27百万 kw/h（同+66.9%）となっている。